



今回は、フェアトレードカフェについて報告します。

◇ 文化祭1日目、フェアトレードに関する啓発活動を行いました！

日 時： 令和元年9月2日(月) 場 所： 関高等学校中庭
協 力： スターバックスコーヒー・ジャパン株式会社 スターバックス・関マーゴ店

◇ 当日のようす

フェアトレードコーヒーのティスティングをしながら、熱帯雨林の自然や農園で働く人々の労働環境について考えるカフェ。SGH課題研究でフェアトレードの問題に取り組む生徒や、自然科学部霊長類研究班の生徒を中心に、有志メンバーが集まって、今年も中庭で行いました。

◇ 生徒の感想より

■今回の活動では、フェアトレードについて大切だということしか知らなかったけど、このような経験を通してなぜ大切なのか、どうすれば問題が解決できるかなどの詳しいことについて知れていい経験だった。また、それらを保護者の方々や生徒のみんなにあげることができて、フェアトレードについて少しでも知ってもらえたという実感があってやりがいを感じた。そして、手に入れた知識を元に考察やいくつかの事柄を繋げて考え伝えられたので、霊長類の保全活動にも生かしていきたいと思った。

■今回、フェアトレードコーヒーを多くの人に広めようという活動に参加し、たくさんの事を得られたと思っています。まず、フェアトレードについての興味が深まりました。元々、少しだけフェアトレードに興味があり、SGHの活動でもフェアトレードについて研究していました。しかし、今回の活動に参加し、今まで自分が知らなかった事を教えていただき、その内容がおもしろくさらに興味がわきました。特に、スターバックスの北川さんの「フェアトレードという言葉がなくなるくらい、フェアトレードを当たり前にした」という言葉が印象に残っています。まさにその通りだと思って共感できた言葉でした。また、コーヒーを実際に自分でお客さんに手渡しする時には、人と接する際の接し方について学ぶこともできました。声をかけるなら、一言目はこういう言葉がいいよ、といったアドバイスをいただけたおかげで、だんだん人に声をかける事に慣れていけました。この経験で、人と接する時の自信ができました。今回の経験が生かせる活動、生き方をしたいと思いました。

■初めは、緊張していて上手く話せなかったけれど、体験を通していくうちに積極的に話すことができるようになったことに自分でも実感しました。フェアトレードについて知ってもらえるようにわかりやすく説明できたと思います。また、クイズや説明を行うことで自分自身も学ぶことがたくさんありました。

説明の際に、質問をしてくださったり、頷きながら聴いていただけたりと、暖かい雰囲気だったので楽しい時間となりました。

